

すばらしき“みえ”

FOR NICE COMMUNICATION

2025.8

247号

■特集／三重で釣りを楽しむ

●いま、グループネット／企業組合 旬菜工房 笑み ●みえを歩こう／亀山市 亀山駅前界限



三重で釣りを楽しむ

夏はもちろんのこと、1年を通して手軽に楽しめるレジャーといえば、多くの人が「釣り」を思い浮かべるのではないのでしょうか？

釣りの魅力は、釣り上げるまでの魚との駆け引き、釣り上げた瞬間の達成感だけでなく、周囲の情景に癒される、釣った魚を食べることができると、実に多種多様です。

今回は、三重県内で釣りが楽しめるスポットや施設の中から6か所をご紹介します。

*各釣りスポットや釣り施設の営業日時、営業時間、受け入れ体制、料金などには違いがあり、状況に応じて変更・休業する場合があります。必ず事前にご確認ください。また、施設内での規則・禁止事項などを守り、安全体調に留意して楽しむようにしましょう。

取材・文：中村真由美・中村元美・堀口裕世

中川 絵美子

撮影：……梅川 紀彦・尾之内 孝昭・中村 元美
ただし※印の写真は取材先から提供していただきました

自然を相手に、無理せず気長に釣り気分

JERA川越釣り桟橋

三重郡川越町

うらかな春の日の屋下がり、「川越緑地公園」を訪ねると、犬の散歩を楽しむ人や、親子連れの姿を見かけました。同園は、川越火力発電所が進める環境整備の一環として、平成5（1993）年に誕生。園内には、あずまや2棟に加えて、各種遊具、季節の花々が咲く花壇が揃うほか、クロガネモチ（川越町の木）やクスノキなどの樹木が約36000本も植えられ、地元住民たちの憩いの場となっています。

約750メートルの長さの園内を海



色とりどりの花が咲く花壇



小休憩に適したあずまや



「釣り桟橋利用者へのお願い」



釣り桟橋へと続く階段

岸へ向けて散策していると、「釣り桟橋利用者へのお願い」の案内板に気付きました。この辺りの海岸沿いは、カサゴ（ガシラ）やハゼなどの釣りスポットとして知られていましたが、より安全に楽しめるようにと、「JERA川越釣り桟橋」（無料・年中無休）が整備されています。「オートバイ、自転車の乗り入れ」「焚き火、花火等の火器を使用する」「釣り桟橋上以外での釣り」「所定場所以外へゴミを捨てる」「飲酒をしての入場及び施設内の飲酒」などの禁止行為をしっかりと

読んだうえで、

堤防沿いに数分歩き、突き当たりに設置された階段を上ると、めざす桟橋が見えました。同桟橋の長さは65メートルで、幅は2メートル程度。足元に注意しながら桟橋上を歩いていると、春霞の中に浮かびあがる四日市コンビナート群を遠望できました。海面に浮かぶ海鳥たちを眺めているだけで心が和んできます。

この日は条件が悪く、名古屋方面から初めて来訪したという男性は、2時間粘っても一匹も釣れないとのことでした。自然を相手にする際には、決して無理をせず、余裕をもって臨んだ方がよいでしょう。



釣り桟橋からの眺望

お問い合わせ

「株式会社 JERA」

TEL 059-365-4585

初心者から上級者まで満足できるフィッシングエリア

フィッシング サンクチュアリ

【いなべ市藤原町】



エサ釣りが楽しめる第4ポンド



釣り上げたばかりのニジマス

から腕に自信がある釣り師たちが集います。
ある春の日に訪ねると、最初に姿を現したのは、ログハウスカフェ「サウザンドウィンズ」です。受付も兼ねた店内には、カフェスペースに加えて、三重県下最大級の品揃えを誇るプロショップがあります。カフェは、釣り客でなくても食事や喫茶が可能で、地元の農家で作った米をはじめとして、産みたて卵や新鮮魚などを使用したメニューが豊富に揃っています。

店内からの眺めは格別で、目の前には、約10000平方メートルの第1ポンド(池)(営業期間：9月末頃から7月上旬まで)が広がります。太公望(たいこうぼう)たちが釣竿を垂らす様子は、まさにサンクチュアリ(聖域)の趣。放流されているのは、ニジマス、イwana、サクラマスなど10種類。1日中(営業時間7:30～17:00)楽しめる1日券のほか、半日券、平日限定の時間券があり、都合に合わせて選択できます。この日は、定期的に利用するとい

う男性が、50センチメートル超えのニジマスをルアー(疑似餌)で釣り上げ、満面の笑みで釣果を見せてくれました。また、隣接して約4000平方メートルの第2ポンド(営業期間：10月第2日曜～5月中旬まで)もあり、深緑に囲まれながら、思い思いの場所ですっきりとした時間を過ごすことができます。なお、5月中旬から9月末ごろまでの期間は、車で5分ほどの距離に位置する第3ポンドに移動することになります。

はエサ釣りに挑戦。少し離れた位置にあるエサ釣り専用の第4ポンド(営業期間：3月中旬から11月末頃まで。夏休み期間中以外の平日は、前日までに要予約)まで歩いていくと、水面は驚くほど透明で、多くの魚影を確認できました。レンタルした専用の竿の針先に小さく丸めた餌を付け、水中に垂らします。すると、予想より早くゴンゴンという振動が伝わりました。思い切って竿を引き上げてみると、20センチメートル程度の大きさのニジマスが釣れていて、驚きと同時に喜びが込み上げてきました。第4ポンドで釣り上げた魚は、買い取り

が原則で、その場で塩焼きにすることもできると聞き、早速焼いてみることに。香ばしく焼きあがったニジマスは臭みもなく、身がホクホクして美味。初挑戦で、釣りの醍醐味(だいごみ)を味わうことができました。
広大な森の中にたたずむ「フィッシングサンクチュアリ」は、初心者から上級者まで満足できる釣り場です。

お問い合わせ

「フィッシング サンクチュアリ」
(フィッシング：第3木曜日定休)
(カフェ：木曜日定休)
TEL 0594-4618820



ログハウスカフェ「サウザンドウィンズ」



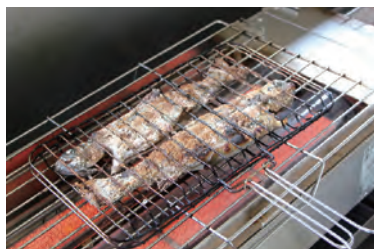
ランチメニュー「フィッシャーマンランチ」



自然との一体感も味わえる第1ポンド



第2ポンド



塩焼きしたニジマス

メガフロートから外釣りも釣り堀も

釣り公園 佐助屋

【南伊勢町迫間浦】



「今朝お客さんが釣ったカンパチです」と三浦 良輝さん

国道260号沿いに立つ「佐助屋」の看板。これを目印に坂道を下りて行くと、静かな入り江の中に巨大な四角い広場が見えます。空港の滑走路として使われていたメガフロートの一部で、60×120メートルという広さの浮島です。「以前、ここは漁協の釣り場



広々としたメガフロート上

でしたが、7年前から私たちが経営しています」と話してくださったのは、三浦良輝さん。この代表である三浦 司さんのお兄さんです。

フロートの陸地側は、外海とは仕切られた釣り堀になっていて、マダイ、ワラサ、カンパチ、シマアジなどが釣れます。司さんはタイの養殖にも携わっているため、元氣なタイがたくさん放流されていて、この日の釣り人たちも次々に釣りあげていました。「毎月3日と23日は大漁放流デーなので特にたくさん釣れますよ」とのこと。

釣り堀の中には鯛エリアがあり、ここでは初心者向けのコースが楽しめます。「貸し竿があるので、手ぶらで来てもらって大丈夫です。餌の付け方など、基本から教えますよ」と良輝さん。「やってみますか」と誘われて釣竿を握り、教わった通りに浮を上げ下げしていると、すぐに周囲の人から「引いてるよ」と声が掛かりました。手伝ってもらってようやく魚を上げると、網の中には体長60

センチメートルほどのタイがピチピチと跳ねています。ビギナーズブラックとはいえ「こんなに大きいのは珍しい」の言葉に気分が上がります。取材時はリリースしましたが、釣った魚はコースごとに決まった匹数を持ち帰ることができます。外側の海に面したところでは、さらに



体長60センチほどのタイ

一般的な釣り人が竿を並べています。良輝さんの「フロートの沖側と陸側とでは、18メートルから13メートルと水深が変わりますので、いろいろな魚が狙えます。アジやチヌ、グレ、ツバス、シーバス、ヒラメなどが釣れますね。季節によってはおオリイカなども来ますよ」の言葉通り、陸に近い場所から外側まで、太公望たちがそれぞれの狙う魚に合う場所を選んで竿を握っています。持参した椅子に腰かけて外釣りを楽しんでいるお客さんを見ると、何本もの竿を並べています。足元の水中にはアジが何匹も入った容器を垂らし、「まずアジなどを

釣って、それを生き餌にして大物を釣ります」と、余裕の表情です。朝から大物を釣った別の男性は、さらなる釣果を狙って、場所を選んでいました。

フロートには桟橋を歩いて渡ることができます。ほとんど揺れず柵もありますので、安心です。バーベキューコーナーに食材などを持ち込んで、釣った魚を焼いて食べることも可能です。

お問い合わせ

「釣り公園 佐助屋」(不定休)

TEL

釣堀 ショートコース 090-1620-9457
外釣り・バーベキュー 090-2261-3071



良輝さんの指導で釣り体験



釣り堀でタイを狙う人も



外海でのんびり大物待つ



エサ用のアジ



海上でのバーベキューは爽快※

初心者や家族連れも安心！
歩いて行ける海上釣り堀

フイッシングパーク トリントン

【鳥羽市千賀町】



レンタルやサポートも充実しており、初めての釣り、でも安心

神宮林などの山の養分を含んだ川の水が流れ込み、豊富なプランクトンに恵まれ、牡蠣や真珠の養殖が盛んな矢津。フイッシングパークトリントンはその波穏やかな湾奥にあります。こ



大きなマダイが釣れた！

す。人気は「2匹釣りコース」。2時間以内で2匹の魚を釣り、持ち帰ることができます。

まずは事務所で受付を済ませ、目の前の桟橋を渡って釣り堀へ向かいます。全長約50メートルの釣り堀は、床はフラットな板敷で揺れもなく足場も広々としています。釣り竿、タモ、エサなどをレンタルし、エサの付け方や竿の扱い方を教わったら、さっそく釣りに挑戦！ここでは基本的な釣り道具から持ち帰りのクーラーボックス（発泡スチロール）まで釣りに必要なものを全てレンタル（有料）できるので、準備や片づけの

手間がかからないのも嬉しいポイントです。

釣り堀の中を覗くとたくさん魚が泳いでいるのが見えます。夏はクエ、イセブリ、ヒラマサ、シマアジ、スズキ、カンパチ、タイ、イサギ…。南伊勢町や大紀町など近隣の海で獲れた魚を漁師から直接買い付けするなどして放流しており豊富な魚種も魅力的です。

さっそく釣り糸を垂らすと、水面に投げ入れた浮きが立ち、5分もたたないうちに動きが。魚がエサに食いつき浮きが沈んだら竿を引き、リールを巻きます。そして魚の姿が見えたらタモで一気に



釣り堀に続く桟橋



海釣りの雰囲気味わえる



釣り堀にある流しですぐ下処理



自分で釣った魚の味は格別



釣り筏も人気

と味わいがあります。また持ち帰る場合には、魚の宅配を依頼することもできるので、旅行中でも荷物が増える心配もありません。

2時間では物足りないという人は海上釣り堀の「釣り放題コース」、本格的な海釣りを楽しみたい人には釣り筏もありです。潮風や海の匂いを感じながら楽しむ釣りは、子どもの自然体験や食育としても人気です。ぜひ伊勢志摩観光と一緒に楽しんでみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ

「フイッシングパークトリントン」(不定休)
TEL 0599-333-6073

釣り堀 正徳丸 【紀北町東長島】

ビギナー大歓迎、頼もしいスタッフが全力でサポート



青物がかかり、スタッフがサポートに入る



マダイやイシダイを放流

は歩いて行ける
陸続きの釣り堀
で、船に乗るの
が苦手な人にも
オススメです。
水深7〜8メー
トルに網が張ら
れていて、獲物

「揺れが少なく、
安心安全です。初
心者の方にはエサ
の付け方から釣り
方のコツまで教え
ていて、全力でサ
ポートします。こ
こで釣りの興味を
深めて、どんな
ステップアップし
て、磯釣りなど
にも挑戦して欲しい
ですね。味は保証
付きですよ。わたし
が責任持って出せ
る魚しか、釣り堀
にはいませんから」と、
店長の若林 伸弥さん。



若林 伸弥さん



釣竿の貸し出し

高速道路が便利になって、紀勢自動車道の紀伊長島インターから10分弱。関西中京圏からの利用者が多い「釣り堀正徳丸」ですが、静岡や長野、山梨と駐車場には遠方からの車がたくさん停まっています。

荷物を取り出して徒歩3分。「正徳丸」

に伊勢ブリ、マダイ、シマアジ、ハマチ、ワラサ、ヒラマサ、イシダイ、ヒラメなどが季節に応じて放流されています。
釣竿を100本程度、玉網の貸し出しも完備し、手ぶらで楽しめるあつて、旅行者にも人気です。予約をすれば、ベテランスタッフが丁寧に指導してくれます。

現場には常に3〜4人のスタッフがいて、ラインが絡んだり、獲物を取り上げる際にもサポートに入ります。釣り上げた魚の鮮度を落とさぬよう「エアー神経締め」もお任せ。身の硬直を遅らせ、新鮮な状態が長続きします。またブリなど勢いのいい青物がかかると、釣り堀

を囲む釣り客全員が、竿を上げて応援。期待感のなかで釣り上げる獲物は格別です。釣り堀外側のエギングで大きなアオリイカを釣り上げた人の周りには、数人が集まり、緊張の走る中でもほのぼのとした時間を過ごせます。

さまざまな企業のレクリエーションにも活用されていて、大人数での予約には貸切で対応しています。また、津波などの災害時に関しても、すぐに高台へ上げられるようにと、対策を講じています。

「せっかく来てもらって一匹も釣果を得られない方には、スノーパー釣り堀のイカダへご案内します。ここでは釣り

糸を垂らせば誰しもがマダイを釣れる仕掛けになっています。どなたもゼロで帰ることがないのです」と特別の配慮をみせます。

釣り堀入り口付近には、流し台とまな板やウロコ取りが用意されているので、魚の処理をすませて家路に着くことができますと好評です。また魚市場付近の魚屋と提携していて、釣った魚を捌いてもらうこともできます(有料)。

小学3年生までのお子さんには、ライフジャケットの貸し出しを行っているため、付き添いの大人も安心です。加えて家族連れに人気の秘密はほかにもあ

りました。連休中のこどもの日には、お菓子の袋をプレゼントしたり、ファミリーに優しい取り組みも企画し、今年は122人の予約が入ったようです。
ウェブサイトも充実していて、予約状況も一目でわかります。インスタグラムでは来訪者の釣果と満足度の高い笑顔を紹介。「不安材料をゼロにして、気軽に来て欲しいので、まずはお電話ください」と若林店長。25年の実績が多くのファンをつかんでいます。

お問い合わせ

「釣り堀正徳丸」(月曜日定休)
TEL 0597-4715820



波穏やかな海で太公望



神経締めはスタッフにお任せ



釣り堀外側に天然の獲物が



釣り堀の一角に流し台を設置

釣りやクルージングで尾鷲の海をトータルでご案内

オハイの環わり

【尾鷲市九鬼町】



初めての手応えが釣り人に人気のアカハタ※

関西や中京、関東圏からもリピーター率の高い「ロックフィッシュガイド九鬼水軍」の船釣りプラン。「ポイントが近いのがウリです。日の出とともに出港し、だいたい4、5時間ですから、少しでも釣ってる時間が長い方がいいでしょう。船を出して5分から10分程度のところにご案内しています」と話すのは、愛知県

へ釣り旅行に出掛けていたとき、何度か訪れた九鬼町で住民が気さくに話しかけてくれたことでした。おにぎりや味噌汁をふるまってくれたおばあさんや、移住者が空き家バンクなどの情報について教えてくれたといいます。

海に出て狙う魚は、オオモンハタやアカハタ、メバル、カサゴにアイナメ、イト

ヒキアジなど。



鈴木 瑛二さん



底まで透き通る九鬼の海

じく、いかに主導権を握って根に潜られないようにするかが大事。手に汗握るスリリングな緊張感を楽しむことができます。「九鬼の海を知ってもらいたい」とオープンしたガイド船です。初心者さんや小さなお子さんでも完璧にサポートします」と鈴木さん。99パーセントという

高い釣果を誇り、誰でも簡単に釣れる釣り船として好評で、少しでも釣りに興味があれば挑戦してみる価値あります。実際に女性のビギナー利用も多く、手応えを感じて釣りに魅了され、何度も通うリピーターがいます。

また釣った魚は鈴木さんが運営する「海鮮バーベキュー浜焼き屋」で、海を目の前に豪快に魚介類を味わえるところ。て、昼食に予約する人も多いのだとか。バーベキューで食べるほか刺身や寿司にしたり、また釣った魚以外に干物や鯛めしなど近海で獲れた海産物をメニューで提供し、尾鷲のブランドとして

知られる「桜ぶり」の時期には、べっこう寿司やしゃぶしゃぶ、ユッケなどのブリコースも用意。地産地消をテーマに、まるごと尾鷲を堪能できます。この場所で釣り道具が洗えることも、利用者にとつてうれしい配慮。また眼前の穏やかな海で子どもたちの食育になればと、釣竿の貸し出しも行っています。

さらにゆったり過ごすならと、漁港近くのゲストハウス「縁場せいじら」を紹介してくれました。古民家を改装し、1階は共有スペースやキッチン、2階が4つの客室になっています。朝から魚を釣って、夜は釣った魚を調理して家族や

友人と楽しむのもいいでしょう。昭和レトロな畳の空間が落ち着けると評判で、連泊して九鬼町を拠点に観光を楽しむ外国人も多いようです。満足度の高い釣りに加えて、鈴木さんは「絶景巡りオハイクルージング」も運行。周辺には世界遺産・熊野古道もあり、トレッキングにも最適。海と山の豊かな自然と歴史を体感できます。

お問い合わせ

「オハイの環わり」

TEL 080-20800-3080

「縁場せいじら」(不定休)

<https://www.seizira.net/>



大物にヒットし、心も躍る※



「浜焼き屋」で焼き立てを頬張る※



九鬼集落の中にある「縁場せいじら」



ゆっくり寛いで過ごせる和室

企業組合 旬菜工房 笑み

伊賀市の比自岐地区は、豊かな水田農業地域ですが、近年は水田維持が困難になりつつありました。そんな状況を打開するため、平成23(2011)年に設立されたのが「農事組合法人 ひじきファーム」です。農地の集積・集約などに取り組み中、女性たちが中心となって「企業組合 旬菜工房 笑み」を設立。同26(2014)年のことでした。以来、お互いに協力し合いながら、地域を盛り立てようと活動中です。

風薫るころ、伊賀市比自岐の「比自岐地区コミュニティセンター」(旧「比自岐保育園」)を訪ねると、「笑みの市」が開催され、地元の人々で賑わっていました。毎月第2土曜日に開催される同市を主催・運営しているのが「企業組合 旬菜工房 笑み」の皆さんです。準備などで忙しい中、代表理事の福嶋 二美夫さんと副代表の中西 加代子さんに話を伺いました。

——皆さんは、企業組合を設立する前から、新鮮な野菜や加工品作りなどを行っていたと伺いました。

中西：そうです。安心・安全な野菜作りをめざして栽培方法にもこだわって

ましたが、地域をさらに活性化するためにも、法人化して加工品製造の設備や環境を整えた方がいいと考えて、企業組合を設立したのです。

福嶋：設備が充実したことで、現在は加工品の種類も多くなり、専属の2名が、「五目豆」「茎わかめ」といった「佃煮」「比自岐こんにやく」などを随時作っています。販売先も、伊賀市内の「道の駅あやま」や「Aコープ 青山店」をはじめとして、名張市内や大阪方面にまで広がっています。いづれも好評をいただいています。また、上野東町にある多目的スペース「うえせん白鳳プラザ」で週に2回開催される朝市にも、新鮮野菜などを出荷しています。

——それは素晴らしいですね。ところで、今日の「笑みの市」で、答志島(鳥羽市)の皆さんが、アジやサワラの干物やちりめんじゃこ、塩蔵わかめなどの海産物を販売していて、驚きました。地元の人たちも、毎回楽しみ、答志島の海産物が一番、などと話してくれました。



中西 加代子さん 福嶋 二美夫さん

福嶋：実は、地域の名前の「ヒジキ」と、答志島が県内有数の海藻「ヒジキ」の産地であることが縁となって、20年前に交流が始まりました。当初は、お互いの子

精進めて作っていますよ。

——それは、おもしろいですね。10月26日(日)には「秋季イベント・収穫祭」も行われるそうですね。

中西：そうです。「比自岐地区コミュニティセンター」(比自岐706番地)で開催予定です。比自岐のお米や野菜販売はもちろんのこと、答志島の人たちも駆け付けてくれる予定です。また、地元の人たちの作品も展示されるので、見どころ満載ですよ。

福嶋：旧比自岐小学校周辺一帯はコスモス畑になっているので、10月中旬ごろになると、色とりどりの花が咲いて、とてもきれいです。よかったら遊びに来てください。

——ありがとうございます。

「笑みの市」では、パンや海産物を買求める皆さんのパワーに圧倒されそうになりました。また、二人のお話からは、比自岐をもっともっと元気にしたいという熱気が伝わりました。

インタビュー……中村 真由美



「比自岐こんにやく」の製造風景※



地元の人々で賑わう「笑みの市」



収穫祭の様子※



「比自岐地区コミュニティセンター」



答志島産の海産物



冷凍車で伊賀牛の販売も行う「笑みの市」



城下町で宿場町。

高低差が生み出す風景を楽しむ

亀山市

亀山駅前界限

亀山市の中心部は、昔は亀山城を囲む城下町であり、旧東海道に沿って町屋が軒を連ねた宿場町でもありました。今も、あちらこちらに江戸時代の情緒が残り、歴史の深さを忍ばせます。また、このまちは、中央を急斜面が走り、大きな高低差がまちを南北に分ける複雑な地形。坂や石段が思いがけない風景を見せてくれます。



今回は、JR亀山駅を出発し、城跡の近くを巡って城下町の名残を味わい、東海道に入って宿場町の面影をたどります。ご案内いただいたのは、「亀山宿語り部の会」会長の豊田 幸孝さん。生まれ育った郷土への愛と誇りに満ちた語り部さんです。

取材・文：堀口 裕世

駅前のヤマトタケル像



駅前の「愛うるはし」像



亀山市立図書館



石井兄弟敵討の碑



多門櫓を見上げる

JR「亀山駅」前に立つ美しい銅像は日本神話のヒーロー・日本武尊とその妻の弟橘媛。『愛うるはし』というタイトルで、令和5年に立てられました。亀山市には日本武尊の陵墓の一つや弟橘媛の生まれた忍山神社もあります。ここからスタートしましょう」とにこやかな豊田 幸孝会長に従って、ゆるやかに城跡の方向に上っていく県道302号(亀山停車場石水溪線)を進みます。亀山市立図書館を過ぎて視界が開けると、山に向かってせりあがっていく町並みと、複

雑に立体交差する道路が織りなす風景に驚かされます。立体交差の上では見下ろしていた家並みが、南崎交差点を越えた辺りから、左側は道より高くなり、右側は道と同じ高さになります。道の左手にある階段の上には「お城見庭園」がありますが、ここは帰り道に寄ることにしてさらに進みます。

武家の町から旧街道へ

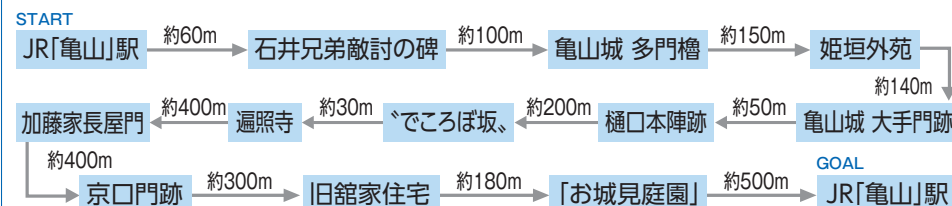
少し行くと右側に大きな池が見えます。「この池は亀山城の堀の名残です。昔、池はもっと大きくて亀山中学校の校庭まで続き、お堀はこの池から西丸町付近

をぐるりと囲んで、城の北側にある菖蒲園や公園池までつながっていました。今立っているところは、昔は城内だったのです」の言葉に、往時の城の規模を感じます。池の端に立つのは石井兄弟敵討の碑。「この仇討は、当時、元禄曾我兄弟」と評判になり、『靈験亀山鉾』という歌舞伎にもなりました。上演される際には今も役者さんがゆかりの寺にお参りに来られます」。

池を越えてほどなく、亀山城多門櫓の下に出ます。「亀山新城は織豊期に築かれ、江戸時代は石川家の居城でした。この櫓は、県の有形文化財に指定されて



■ 行程図 所要時間／約2時間30分 ※所要時間は、おおよその目安です。





白壁が続く加藤家屋敷跡



京口門の案内板



梅厳寺



旧館家住宅



「お城見庭園」で一休み

亀山城下の西端

さらに進むと、亀山宿の西端である

お堀の池のほとりに出ます。県道を渡って白壁の塀が続く道に入ると、宿場の風情から武家のまちの雰囲気に戻ります。「この白壁は加藤家の土塀で、土蔵や長屋門、母屋の一部などが残っています。加藤家は備中松山・現岡山県高梁市から、石川家の殿様の転封に従ってこの地にきた家老の家です」。続いて、家康ゆかりの青木門跡などを見、亀山城西之丸外堀跡へ。この堀が城の西端で、道は旧東海道と重なります。

京口門跡に出ます。「亀山に過ぎたるものの二つあり伊勢屋蘇鉄に京口御門」と歌われるほど立派な門だったそうです。蘇鉄は旅籠の伊勢屋にあったもので、現在は文化会館に移植されています。ここが亀山宿の西の出入り口になるのですが、そのすぐ外側の竜川の風景を見てください。歌川広重の『東海道五拾三次之内 亀山 雪晴』に描かれたのもこの辺りです。今は道から続く平坦な橋を渡ることができませんが、橋の上から見下ろす川の両岸は、深いV字を描く急傾斜。「城の守りには良い地形だったのですが、旅人には厳し

い道ですね。この山側にある梅厳寺は、市内に4つある石川家の菩提寺の一つです」。ここから西之丸外堀跡まで戻り、右折して、先ほどの道より一本駅寄りの道を進みます。呉服屋だった旧館家住宅、西町若林家の間屋場跡など、宿場町らしい風景が残っています。「お城見庭園」には休憩スペースがありますので、ここで一息入れたら階段を下りて、右へ。立体交差の上から、町全体を見渡して名残を惜しみ、駅へと戻りましょう。

問 亀山市市民文化課
TEL 0595-9611218



姫垣外苑通りに立つ石碑



亀山城 大手門跡の案内板



江ヶ室交差点。御馳走場、で大名行列を出迎えた



でころぼ坂、は階段状に整備されている



遍照寺の門から本堂を見下ろす

います」。本丸町、西丸町などの地名やたくさん石碑に武家の町ならではの風情が漂います。

道のカーブに沿って進むと交差点へ。「北からの道が姫垣外苑通りで、ここまでは本丸の中です。この通りに沿って太鼓櫓があり、時を告げる太鼓が置かれていました。道を挟んだ先は東三之丸。高位の武士の屋敷がありました」。さらに進むと江ヶ室交差点に出ます。「ここは城の東端で、亀山城 大手門がありました。東海道は亀山宿の東の入り口・江戸口門を通ってここまで続き、この門の前で南に折れて、城の外側を回って西に

頭で鐘撞く遍照寺

交差点を曲がると、細くなった道の両側に家々が並び、旧街道らしいうねりやクラックが見られます。しばらく進むと、左側の家並みが途切れ、下に続く階段に出ます。「でころぼ坂」といって、昔は下の道に直結する唯一の道でした。でく

(人形)が転ぶなど、名の由来は諸説あります」。200メートルほどの長さで、立体交差の上から見下ろした道の低い場所が続いています。このすぐ隣には遍照寺の山門がそびえ、門の中央から見下ろす位置に、本堂の美しい屋根が見えます。「本堂はお城の二之丸御殿を移築したものです。この境内も急傾斜で、奥に行くほど下がついているのです。この門は鐘楼なのですが、頭で鐘撞く遍照寺」といわれる特殊な景観になっています。

再び武家屋敷のまちへ

さらに旧東海道を歩いていくと、再び

守りたい、いのち 三重県指定希少野生動植物種

絶滅のおそれのある動植物種のうち、特に保護する必要がある種で、
三重県指定希少野生動植物種として指定している野生動植物を紹介します。



ヒキノカサ

被子植物双子葉類キンポウゲ科

◆ 分布 ◆

中勢、南勢、東紀州

河口周辺の湿地に自生する茎の高さ10～20cmの多年草。根元から数個の紡錘状の太った根と細い根ができる。花は黄色、花期は4～5月。生育地は河口部に多く、増水による長期間の水没があれば絶滅のおそれがある。

資料・写真提供：三重県 農林水産部 みどり共生推進課 野生生物班

■ お問い合わせ

三重県 農林水産部 みどり共生推進課 野生生物班

TEL:059-224-2578 メールアドレス:midori@pref.mie.jp

*三重県指定希少野生動植物種を県ホームページに準じて紹介しています。

*県ホームページで他の野生動植物種をご覧になれます。

表紙写真 「フィッシングパークトリトン」（鳥羽市千賀町）

百五銀行のホームページで、「すばらしき"みえ"」のバックナンバーをご覧いただけます。
<https://www.hyakugo.co.jp/mie/>